LICENSE **GUIDE**

試験ガイド

中小企業診断士試験合格までの道のり

中小企業診断士になるまでには、1次試験、2次(筆記・口述)試験、実務補習・実務従事の3段階のステップがあります。 ※当案内は2011年度試験実施例を基に作成しています。試験要項は、例年試験実施年度の4月上旬~5月上旬に発表されます。

第1次試験

8月

企業経営やコンサルティングに関する 基本的な知識を問う試験

1次試験は、中小企業診断士に必要な知識を有するかどう かを判定することを目的とし、マークシート形式により行な われます。なお、他の国家資格の合格者などに対しては、 申請により試験科目の一部免除が認められています。

■試験実施科目:7科目

受験資格 年齢・性別・学歴等に制限はなし

■試験問題形式:マークシート形式による多肢選択式

※四肢択一または五肢択一

1次試験概要

| | 試験実施日 | 8月上旬(2011年度は8月6日(土)、7日(日)(2日間)) | | | | | | | |
|--|-------|-----------------------------------|-----------------------|--|------|------|--|--|--|
| | 試験科目 | | 試験 | 科目 | 時間 | 配点 | | | |
| | | 1日目 | A. 経済学·経済政 | 60分 | 100点 | | | | |
| | | | B. 財務·会計 | 60分 | 100点 | | | | |
| | | | C. 企業経営理論 | 90分 | 100点 | | | | |
| | | | D. 運営管理 (オペレーション・マ | プネジメント) | 90分 | 100点 | | | |
| | | 2日目 | E. 経営法務 | | 60分 | 100点 | | | |
| | | | F. 経営情報システム | | 60分 | 100点 | | | |
| | | | G. 中小企業経営·中小企業政策 | | 90分 | 100点 | | | |
| | 実施地区 | 札幌·仙台·東京·名古屋·大阪·広島·福岡 (2011年度) | | | | | | | |
| | 合格発表 | 9) | 9月上旬(2011年度は9月6日(火)) | | | | | | |
| | 合格基準 | 1 | 総点数による 合格基準 | 総点数の60%以上であって、かつ17 目でも満点の40%未満のないことを3 準とし、試験委員会が相当と認めた行 点比率とする。 | | | | | |
| | | 2 | 科目ごとによる 合格基準 | 科目合格基準は、満点の60%を基 して、試験委員会が相当と認めた 比率とする。 | | | | | |
| | | | | | | | | | |

とその翌年度まで2次試験を受験できる)

翌々年度まで合格した科目を免除申請できる)

※3年以内に7科目のすべてに合格することで1次試験合格となる。

●1次試験合格(全科目合格)の有効期間は2年間(合格年度

●1次試験合格までの科目合格の有効期間は3年間(翌年度と

※2年目以降も、残りの受験(非免除)科目における「総点数による合格基準 |を満

たすことで1次試験合格となる。

14,400円(税込)〔2011年度〕

合格の

有効期間

合格基準の詳細(具体例)は▶▶30ページ

1次試験科目ガイドは▶▶▶▶▶ 24ページ

第2次試験



筆記試験〈10月〉+口述試験〈12月〉

企業の問題点や改善点などに関して 解答する筆記試験と面接試験

2次試験は、中小企業診断士に必要な応用能力を有するか どうかを判定することを目的とし、中小企業の診断及び助 言に関する実務の事例並びに助言に関する能力につい て、筆記および口述の2段階の方法により行なわれます。

■試験実施科目:《筆記》4科目

《口述》筆記試験出題内容をもとに4~5問出題

■試験問題形式:《筆記》各設問15~120文字程度の記述式

《口述》10分程度の面接

2次試験概要

| | 受験資格 | 1次試験合格者 ● 1次試験合格(全科目合格)年度とその翌年度に限り有効 ● 2000年度以前の1次試験合格者は1度に限り有効 | | | | | | | | |
|-------------|--------------|--|-----|------|--|--|--|--|--|--|
| | 試験実施日 | 10月中旬~下旬(2011年度は10月23日(日)) | | | | | | | | |
| | | 試 験 科 目 | 時間 | 配点 | | | | | | |
| 筆 | | 【事例 I 】組織 (人事を含む)を中心とした経営の戦略および管理に関する事例 | 80分 | 100点 | | | | | | |
| 記試 | 試験科目 | 【事例II】マーケティング・流通を中心とした経営の戦略および管理に関する事例 | 80分 | 100点 | | | | | | |
| 験 | | 【事例Ⅲ】生産・技術を中心とした経営の戦略 および管理に関する事例 | 80分 | 100点 | | | | | | |
| | | 【事例IV】財務・会計を中心とした経営の戦略 および管理に関する事例 | 80分 | 100点 | | | | | | |
| | 実施地区 | 札幌·仙台·東京·名古屋·大阪·広島·福岡 〔2011年度〕 | | | | | | | | |
| | 筆記試験 結果発表 | 12月上旬(2011年度は12月9日(金)) | | | | | | | | |
| | 受験資格 | 当該年度の2次筆記試験合格者 ※口述試験を受ける資格は当該年度のみ有効であり、 翌年に持ち越すことはできません。 | | | | | | | | |
| | 試験実施日 | 12月中旬(2011年度は12月18日(日)) | | | | | | | | |
| 一述試 | 実施方法 | 中小企業の診断及び助言に関する能力について、 筆記試験の事例などをもとに、個人ごとに面接 | | | | | | | | |
| 験 | 実施時間 | 約10分間 | | | | | | | | |
| 130 | 実施地区 | 札幌·仙台·東京·名古屋·大阪·広島·福岡 〔2011年度〕 | | | | | | | | |
| | 合格発表 | 12月下旬~1月上旬(2011年度は2012年1月6日(金)) | | | | | | | | |
| | 合格基準 | 筆記試験における総点数の60%以上で、かつ1科目でも 満点の40%未満がなく、口述試験における評定が60%以 上であることを基準とする。 | | | | | | | | |
| 合格の 有効期間 | | 2次試験合格後、3年以内に実務従事・実務補習を受ける 必要がある。 | | | | | | | | |
| | 受験料 | 17,900円(税込)〔2011年度〕 | | | | | | | | |
| _ | | | | | | | | | | |

2次試験科目ガイドは▶▶26ページ

実務補習•実務従事

2月・3月・7月・8月・9月

コンサルティングの実践

実務補習・実務従事は、中小企業診断士として診断実務能 力を有するかを実務を通して判断することを目的とし、第 2次試験合格後、3年以内に実務補習を15日以上受ける か、実務に15日以上従事することにより、中小企業診断士 としての登録の申請を行なうことができます。

実務補習·実務従事概要

(1) 実務補習

●登録実務補習機関による実務補習

受講資格:中小企業診断士第2次試験合格者の中で、3年を経過してい

| | 実施期間/実施地区 (2010·2011年度例) | | | 仙台 | 東京 | 名古屋 | 大阪 | 広島 | 福岡 |
|--|-----------------------------|-----------------------------|---|----|----|-----|----|----|----|
| | | 2/3(木)~2/14(月) (5日間コース) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2011年 | 2/3(木)~3/14(月) 〔15日間コース〕 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 6/30(木)~7/11(月) (5日間コース) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 8/19(金)~8/29(月) (5日間コース) | _ | _ | 0 | 0 | 0 | _ | - |
| | | 9/9(金)~9/20(火) (5日間コース) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

※5日間コースを受講される場合には、第2次試験合格後3年以内に3回受講することが必要です。

■実務補習の標準的な流れ(5日間コース例)

| 実施 | 施約1週間前 | 指導員からメールにて、企業概要の提示や事前準 備作業の指示 |
|-----|---------|--|
| 第1日 | 3目~第4日目 | グループ別打ち合わせ、企業等の訪問・調査、資料 分析、診断報告書の作成など |
| | 第5日目 | 企業等への報告会など(修了証書発行) |

※5日間コースは1企業(等)、15日間コースは3企業(等)の実務補習を行う。

②受講手数料 5日間コース…50,000円(税込) 15日間コース…150,000円(税込)

❸中小企業基盤整備機構、都道府県等中小企業支援センターにおける実務

(2) 実務従事

- ●国·都道府県等、中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援セ ンターが行う診断・助言業務
- ②中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う窓 口相談等の業務
- ❸中小企業に関する団体が行う中小企業の診断・助言または窓口相談等の
- ◆その他の団体または個人が行う診断・助言または窓口相談等の業務
- **⑤**中小企業の振興に関する国際協力等のための海外における業務

合格者の実務補習体験を TACホームページで公開中!

TAC 診断士 検索

実務補習ガイドは ▶▶ **27ページ**

受験者数・合格者数・合格率の推移 =合格者数 =1次試験受験者数 =2次試験受験者数 第1次試験 受験者が増加傾向! (人) 16,000 15,056人 15,922人 15,803人 (%) 15.000 50 12,542人 12,776人 13,564人 14.000 40 13,000 ∃30 12,000 11,000 20 10 000 _ 10 9,000 8,000 4.000 3,000 2,533 2,000 1.000 第2次試験 19.6% 20.1% 20.2% 19.8% 19.5% 6.000 5 000 4.000 3,000 951人 925人 875人 805人 799人 '07 '08 '09 10 ※その他の合格者に関する統計資料は32ページをご覧ください。

■他資格等保有による免除対象者 ダブルライセンスに有利

| 科目免除 | 科目免除対象者(2010年度試験実施例) |
|--------------|---|
| | 大学等の経済学の教授・准教授・旧助教授(通算3年以上) |
| | 経済学博士 |
| 経済学· 経済政策 | 公認会計士試験または旧公認会計士試験第2次試験において経済学を受験して合格した者 |
| | 不動産鑑定士、不動産鑑定士試験合格者、不動産鑑定士補、旧不動産鑑定士試験第2次試験合格者 |
| | 公認会計士、公認会計士試験合格者、会計士補、会計士補となる有資格者 |
| 財務·会計 | 税理士、税理士法第3条第1項第1号に規定する者(税理士試験合格者)、税理士法第3条第1項第2号に規定する者(税理士試験免除者)、税理士法第3条第1項第3号に規定する者(弁護士または弁護士となる資格を有する者) |
| 経営法務 | 弁護士、司法試験合格者、旧司法試験第2次試験合格者 |
| | 技術士(情報工学部門登録者に限る)、情報工学部門に係る技術士となる資 格を有する者 |
| 経営情報システム | 次の区分の情報処理技術者試験合格者(ITストラテジスト、システムアーキテクト、応用情報技術者、システムアナリスト、アプリケーションエンジニア、システム監査、プロジェクトマネージャ、ソフトウェア開発、第1種、情報処理システム監査、特種) |

※科目免除者および科目合格者は科目免除割引制度をご利用いただけます。詳しくは71ページをご覧ください。

試験・実務補習に関する問い合わせ

社団法人 中小企業診断協会

〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-11 銀松ビル5階

- ■TEL 03-3563-0851(代)
- ■ホームページ http://www.j-smeca.jp/
- ●試験要項は、例年4月上旬~5月上旬に発表されます。

22 | Registered Management Consultant Registered Management Consultant | 23